2020年春・特別販売のご案内

中古文学会会員各位

このたび、日頃よりお世話になっております中古文学会会員様限定にて、 大会時の展示販売と同様に、全点 **2 割引**の特価でご注文を承ります。 (学会誌「風土記研究」のみ定価販売です)

[期間] 2020年7月31日ご注文分まで。

[送料] 5月31日までにご注文いただいた分はご注文金額にかかわらず 無料。 6月1日以降は、ご注文合計額2,000円未満(割引前の本体価格)のときに、 送料300円を申し受けます(2,000円以上は無料)。

書目の詳細は、次頁のファクス用注文書からご確認いただけます。 (各書目をクリックすると、花鳥社ウェブサイトの詳細ページに移動します)

[ご注文とお支払いについて]

- ・花鳥社へ直接ご注文ください。 メール info@kachosha.com ファクス 03-3792-2323電話 03-6303-2505担当 相川(あいかわ)
- ●ご注文の際は、下記をお知らせ下さい。
 - 1. お名前 (「中古文学会会員」と添えてください)
 - 2. お届け先
 - 3. 書籍名と冊数

研究費等、公費でご注文の場合は、以下の4~6もお知らせください。

- 4. 書類のお宛名
- 5. 見積書、納品書、請求書の必要通数 (ご指定がなければ各 1 通で手配します)
- 6. 日付の要、不要(ご指定がなければ起票日を記入します)
- ●本に郵便払込用紙を同封の上、お届けいたします(払込手数料はお客様ご負担)。原則として、ご注文から3営業日以内に発送いたします。



2020 年春·中古文学会 特価注文書 **FAX送信先03-3792-2323** 花鳥社

ISBN	書 名	刊行年月	著 者 名	本体価	2割引 (税込み)	冊数
978-4-909832-15-3	はじめて読む 源氏物語	2020年1月	藤原克己監修/今井上編	1,800	1,584	
978-4-909832-17-7	新訳更級日記	2020年3月	島内景二	1,800	1,584	
978-4-909832-08-5	和歌の黄昏 短歌の夜明け	2019年9月	島内景二	2,800	2,464	
978-4-909832-00-9	庭園思想と平安文学 寝殿造から	2018年12月	倉田実	8,500	7,480	
978-4-909832-18-4	文の成立と主語・述語	2020年2月	竹林一志	2,800	2,464	
978-4-909832-03-0	訓読と漢語の歴史	2019年2月	福島直恭	2,400	2,112	
978-4-909832-05-4	女性の文章と近代 書きことばから見たジェンダー	2019年10月	出雲朝子	3,500	3,080	
978-4-909832-31-3	「上代のことばと文字」入門 上代文学研究法セミナー	2020年1月	瀬間正之 編	1,800	1,584	
978-4-909832-07-8	古代日本文学が物語る婚姻・出生伝承	2020年3月	青柳まや	9,500	8,360	
978-4-909832-13-9	古事記私解丨	2020年1月	多田一臣	3,800	3,344	
978-4-909832-14-6	古事記私解Ⅱ	2020年1月	多田一臣	3,800	3,344	
978-4-909832-02-3	倭建命物語論 古事記の抒情表現	2019年2月	小野諒巳	6,000	5,280	
978-4-909832-09-2	先代旧事本紀論 史書・神道書の成立と受容	2019年8月	工藤浩編	8,000	7,040	
978-4-909832-91-7	風土記研究 第41号 *割引無	2019年3月	風土記研究会編	4,000		
978-4-909832-92-4	風土記研究 第42号 *割引無	2020年3月	風土記研究会編	4,000		
978-4-909832-06-1	闘乱の日本古代史 つくられた偉人たち	2019年9月	松尾光	2,200	1,936	
978-4-909832-21-4	武者の世が始まる 軍記物語講座1	2020年1月	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-22-1	無常の鐘声 平家物語 電記物語講座2	2020年6月予定	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-23-8	平和の世は来るか 太平記 軍記物語講座3	2019年10月	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-24-5	乱世を語りつぐ 軍記物語講座4	2020年5月予定	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-01-6	馬琴と演劇	2019年2月	大屋多詠子	16,000	14,080	
978-4-909832-10-8	純文学という思想	2019年10月	小林敦子	4,500	3,960	
978-4-909832-04-7	〈宮澤賢治〉という現象	2019年5月	村山龍	5,800	5,104	
978-4-909832-11-5	「言論統制」の近代を問いなおす	2019年9月	金・尾崎・十重田編	3,200	2,816	
978-4-909832-12-2	映しと移るい 文化伝播の器と蝕変の実相	2019年9月	稲賀繁美編	12,800	11,264	_

本申込用紙で2020年7月31日までにご注文の場合、20%割引で承ります。

お名前

お届け先(ご自宅・勤務先) 〒

電話番号

【公費の場合は、下記もご記入ください】

◎書類のお宛名

◎書類枚数 納品 通・見積 通・請求 通 0日付 無 / 有

株式会社 花鳥社

監修 編

物語の大きな流れと読みどころをわかりやすく解説。 選り抜きの名場面や重要な一節を取り上げて鑑賞しながら、

恋と冒険、 多くの話題が複雑に絡み合う物語を味わうための道案内 出会いと別れ、親睦と裏切り、 誤解やすれ違い、 夢や予言や陰謀まで、

[目次]

監修者のことば/凡例

ダイジェスト1 物語のはじまり 帚木三帖

紫の上と藤壺

2

ダイジェスト2 末摘花巻

葵・賢木巻―波乱の予感 紅葉賀·花宴巻 光源氏

青春の恋

11

柏木・横笛巻

-不義の連鎖

ダイジェスト6

鈴虫·夕霧巻

3

4

ダイジェスト3 花散里巻

12

紫の上と光源氏の退場

主要人物紹介/あとがき/執筆者紹介

『源氏絵』

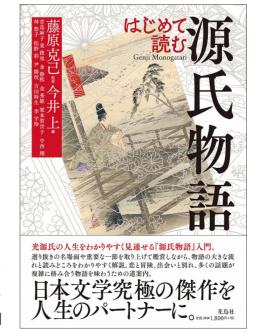
の世界

流離と復活

6 5 絵合・松風巻 ダイジェスト4 新たな宮廷秩序 澪標·蓬生· 関屋巻

> 10 9 8 7 梅 枝 • ダイジェスト5 藤裏葉巻 老年の光源氏 物語の転換点 藤壺退場 玉鬘十帖 栄華の完成

1,800 円(税別) ISBN978-4-909832-15-3 C0095 A5判・並製カバー装・216頁・2020年1月刊



の魅力を存分に引き出した新訳の誕生

古典の奥の奥までわか る。

凝縮された更級世界に 踏み込んだ意訳が 行の背後に潜む、 われわれを導く。

[目次]

はじめに

— 東海道紀行……憧れは西へ(十三歳

絶賛放送中!

新訳

『古典講読 更級日記』

NHKラジオ第2 王朝日記の世界

著者が担当する、

島内景

VI

物詣の旅……宗教的な旅の思い出(三十八歳から四十九歳)

同僚の女房たちとの友情/和泉の国への舟旅 越前に下った女友達/西山で孤独を思う/太秦に籠もる/ 鞍馬の春秋/石山寺、 家刀自の自由を、石山詣/都の華やぎを後に、初瀬詣/宇治川の網代) 再訪/初瀬、再訪/家庭生活の満足と、 期待

姨捨山の月……物語を求め続けて、今(五十歳から五十二歳

信濃の国司となる/夫と息子の旅立ち、 みんな壊れた/阿弥陀仏の夢/ /更級の姨捨山/孤独を生きる 不吉な人魂/夫の死

子忍びの森/清水寺で見た夢/長谷寺の鏡の夢/天照御神/修学院の尼

祐子内親王家への宮仕え……文化サロンの萌芽(二十九歳から三十二歳

/ 初めての出仕/師走の里下がり/前世の夢/御仏名

「常陸の介」になった父/秋の別れ/太秦で父の無事を祈る/散乱たり、荻の葉。そして、夢もまた/

父、遠くへ去りぬ……寄せては返す夢のさざ波(二十五歳から二十八歳

父 V

帰る/西山の山荘/宮仕えの誘い)

時鳥を独り占め/東山の秋/心の友は、どこに/東山から戻る

父親の不遇を、

狭い家に移る/飛び去りし姉/死の波紋を描く物語/悲しみの連珠/吉野を思う

東山での日々……淡い恋の記憶(十八歳から二十四歳)

恋人と悲しむ/東山に移る/山の井の雫/物語の女たちを憶う)

『長恨歌』と七夕/死を思う姉と、

恐るべき満ち潮と、足柄幻影/晴れやらぬ雪の逗留/来迎の神秘

物語への飢渇感と、焼け石に水/継母との別れ/相次いだ春の訃報

『源氏物語』を読む夢を叶える/十四歳の夏秋 天照御神/猫に生まれ変わった姫君)

荻の葉情歌/自宅の火災と、そして猫の死

Ⅱ 広壮な屋敷で紡がれる夢……物語愛づる少女(十三歳から十七歳

月光哀歌/東国に下り住んだ皇女様/隅田川を渡る/地名のおかしみ

物語の待つ都へ/取り残された薬師仏/雨の日の旅立ち/水底の門/くろとの浜

夢幻のクレバス/駿河の国に入る/神々が集う富士の山/浜名の橋/三河の国の旅

東山再訪/露の哀れ/継母への抗議/物語への永遠なる憧れ

結婚と貴公子……世俗的な夫と、物語的な男(三十三歳から三十七歳)

冬の女房生活日誌・その二/冬の女房生活日誌・その三/ 宮廷の風雅、殿上人との季節の語らい/時雨の夜のなごり 結婚/物語への疑い/内侍所で天照御神を拝む/冬の女房生活日誌・その一/

解説 移り行く刻と、人生の悲哀/藤原定家の奥書・その一/藤原定家の奥書・その二



1,800

ISBN978-4-909832-17-7 C1095

四六判・並製カバー装・424頁・2020年3月刊

魅力を

『更級日記』

踏み込んだ意訳が

凝縮された更級世界に

新訳の誕生! 存分に引き出した

紀でも 著

千四百年の歴史を誇る和歌・短歌の変遷を丁寧にひもとく。 『古今和歌集』から日本文化が始まる」という新常識のもと、

ЅҤ**ҳ**ӀӀӀӔ**Ҹ**ҍҤ**҈**Ҝҽӈ҉

とができるか

0

文化的な難問と向かい合うための戦略を問う。 「令和」の時代を迎えた現代が直面する、

早わかり「和歌・短歌史」

Ĭ 和歌の黄昏

皆殺しの短歌と、「四海兄弟」 和歌は、異文化統合のシステムだった の和歌

中島広足と神風思想

3

蓮田善明の「反近代」、そして「反アララギ」 三島由紀夫は、 和歌文化を護ろうとした

5

4

6

本居宣長の「大和心」 赤穂浪士たちの仇敵は、 もののあはれ」という暴力装置 と「大和魂」 源氏文化だった

26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14

明治天皇と「大和心」

8 7

近藤芳樹と『源氏物語』

橘守部による和歌の大衆化 江戸の文人大名と『源氏物語』 香川景樹と 一原・もののあはれ

13 12 11 10 9

短歌の夜明け

短歌の物語性と批評性の母胎は、 現代短歌は、 正岡子規と 『源氏物語 いつから平面化したのか 漢語である

短歌と新体詩の距離 正岡子規の「歴史」詠

落合直文は、 大和田建樹の新体詩の戦略 なぜ「折衷派 なのか

森鷗外の和歌と小説 一葉は旧派歌人だった

翻訳詩の功罪……上田敏の 『海潮音』

佐佐木信綱と古典文学 在原業平になりたかった男……与謝野鉄幹 西下り」した女業平……与謝野晶子

終章

「もののあはれ」と日本、

そして世界

伊藤左千夫と日露戦争

島木赤彦

『切火』と、近代文語

斎藤茂吉『赤光』と「もののあはれ

「もののあはれ」と革命……石川啄木

おわりに…… | 令和_

歌 黄 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 0 『まひる野』と、窪田空穂の「神」 佐佐木信綱の『新月』 若山牧水と『伊勢物語』 若山牧水のあくがれた「城」と「国 明 問い直す! 日本の近代を 問と向かい合うための戦略 代が直面する、文化的な難 「令和」の時代を迎えた理 本体価格

島内景二

2,800 円(税別)

歌は、21世紀でも

できるか

作りだすことが |平和|を

識のもと、千四○○年の歴

を丁寧にひもとく 史を誇る和歌・短歌の変遷 文化が始まる」という新常

-装・376頁・2019年9月刊

「『古今和歌集』から日本

ISBN978-4-909832-08-5 C1092



北原白秋と『小倉百人一首』 原阿佐緒の『涙痕』を読む

北原白秋『桐の花』と、「もののつれづれ.

若山牧水と古典和歌

たな視点で捉えなおす 庭

『源氏物語』『枕草子』『うつほ物語』 『伊勢集』『和泉式部集』ほか、

王朝文学作品に描かれた様々な「庭」。貴族は庭に何を求めていたのか、

史実と虚構から考察。 庭園史や考古学の知見も得て作品中の庭を捉え、 平安文学を読み解く。

倉田) 実 捉えなおす 寝殿造の

8,500 本体価格 円(税別) ISBN978-4-909832-00-9 C3095 A5判・上製カバー装・376頁・2018年12月刊

平安朝女性文学と前栽 歌人の庭―

第 7 章 第6章 Ш 家の女の庭-『伊勢集』から― 「蜻蛉日記」から―

第8章 女の家の庭― 『和泉式部集』『和泉式部続集』から―

第9章 宮廷の庭―『枕草子』から―

物語文学の庭

第11章 第10章 春秋優劣論の庭― 音楽の庭―『うつほ物語』 『源氏物語』の六条院― 仲忠の三条京極邸

紅梅の庭―『源氏物語』 の二条院と紫上の最期

歴史人名索引/歴史文献書名索引/庭園・ 初出一覧/引用図版出典) / あとがき 建築関係事項索引

第 4 章

藤原頼通創建

「高陽院 について

第3章

実在した寝殿造の庭

道長の法成寺と頼通の平等院の影

藤原敦忠「音羽山荘」

の庭

『伊勢集』

の遣水の滝を詠む和歌

第2章

狭衣物語』 源氏物語』

の浄土寺院と浄土庭園

凡例 目次

平安時代の庭

神仙庭園から浄土庭園

の神仙庭園― 「胡蝶」巻の六条院

第5章

再建

一高陽院」

